



教室における自己評価総括表を公表します



基本情報

■ 教室名	ハッピーテラス網島教室	[児童発達支援]
■ 保護者さま等教室評価実施期間	令和6(2024)年12月2日(月)	～	令和6(2024)年12月21日(土)	
■ 保護者さま等教室評価有効回答者数	(回答者数) 5名	/	(対象者数) 12名	
■ 職員自己評価実施期間	令和6(2024)年12月2日(月)	～	令和6(2024)年12月21日(土)	
■ 職員自己評価有効回答者数	(回答者数) 5名	/	(対象者数) 9名	
■ 職員自己評価表作成日	令和6(2024)年12月27日(金)			



分析結果

	教室の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意図的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまの活動等のスペースが十分に確保されているか。	発達支援室は、法令を遵守したスペースを確保している。	引き続きお子さまが活動しやすいスペースを提供できるよう取組をする。
2	教室の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか。	お子さま一人ひとりの特性等に合わせ、効果的に楽しく学べる活動プログラムをチームで立案している。	次の学びにつながる成功体験を重視した上で、お子さま一人ひとりが自発的に適切な行動することができる活動プログラムを立案する。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子さまや保護者さまに対して発信されているか。	ラウンジ内に月間の活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を掲示するとともにホームページにも掲載している。	引き続きお子さま及び保護者さまにわかりやすい情報発信を行う。
4	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。	非常災害の発生に備え、避難、救出その他必要な訓練を計画的に実施している。	引き続きお子さまと一緒に防災訓練を年二回以上実施する。

	教室の弱み(※)だと思われること ※教室の課題や改善が必要と思われること	教室として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間は、お子さまにわかりやすく構造化された環境になっているか。	お子さまにわかりやすく構造化された環境を整備するだけでなく、セントラル・コヒーレンスに対しても合わせて整備する必要がある。	物理的な構造化、時間の構造化、活動の構造化について取組や工夫をし、お子さまが安心して過ごせる環境を整備する。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さまと活動する機会があるか。	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さまと活動する機会の提供を検討する必要がある。	近隣の保育所や認定こども園、幼稚園等に依頼をし、他のお子さまと交流や活動する機会を設ける。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等を定期的で開催する必要がある。	次年度に開催を予定している。
4	お子さまの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているか。	お子さまの安全を確保するための計画を策定し、お子さまの安全の確保が十分に行われた上で支援を行っているが、計画が保護者さまに周知徹底されていない。	お子さまの安全を確保するための計画をホームページに掲載する等の情報発信を行う。